0	0
¬ ※	記入方
— 印	万法
瀾	1=
t	つ
12	い
入 し	T
し	は
な	裏
いで	面
で	を
<	ご
だ	参
さ	照
٦,	<
0	だ
	さ

	様式:	<u>⊐−</u> ド			
3	2	2	1		
届	書コ-	-ド	届		
2	2	1	書		
	①船	舶所	有者	整理	記号

## 船 員 保 険厚生年金保険 被保険者報酬月額変更(基準日)届

				10 11 00
肵	長	副所長	課長	担当者

②被保険者 整理番号	③個人番号(または基礎年金番号)	⑦被保険者の氏名	④被保険者の生年月日	① ① 種別 職務	⑤ エ 標準報酬月額 従前の標準 変 更 年 月 報 酬 月 額	報
A C D		(氏) (名)	昭和5 年 月	H 2 .	<sup>令和</sup> 年 月 <sup>船</sup> 千円	伊 円 <sup>船</sup> 千円
			平成7	4 6 8	厚千円	·
A C D		2	昭和5     年 月       平成7        令和9		<sup>令和</sup> 年 月     月       9     F       F     F	<ul><li>分 円</li><li>か 円</li><li>か 円</li><li>手 千円</li><li>送信</li></ul>
ACD		2	昭和5     年     月       平成7        令和9		<sup>令和</sup> 年 月 <sup>船</sup> 千円 9 <b>厚</b> 千円	<ul> <li>⑦ 円</li> <li>⑥ 円</li> <li>⑥ 円</li> <li>⑥ (信)</li> </ul>
ACD		3	平成7 令和9		<sup>令和</sup> 年 月 <sup>船</sup> 千円 9	<ul><li>分 円</li><li>か 円</li><li>か 円</li><li>手円</li><li>送信</li><li>信</li></ul>
ACD		3	平成7 令和9		<sup>令和</sup> 年 月 <sup>船</sup> 千円 9	<ul><li>分 円</li><li>か 円</li><li>か 円</li><li>手 千円</li><li>送信</li></ul>
船舶所有有住	<b>所</b>		令和 年 社会保険労務士記		月日提出	受付日付印
氏電話番号	号 ( ) 一		氏名等	,		

## 【記入方法】

4	@ @ # P L + L = LE +0= @ H A		405	6 L 7 L = 7 7 L - / L ( L )
1.	②の番号は、たとえば、125の場合	<b>î</b> [ま、'	125	」のように記入してください。

③には、本人確認を行ったうえで、個人番号を記入してください。基礎年金番号を記入する場合は、基礎年金番号通知書等に記載されている10桁の番号を左詰めで記入し てください。

④の年号は、該当する文字を○印で囲んでください。生年月日は、たとえば、昭和34年5月27日の場合は

3 | 4 | 0 | 5 | 2 | 7

のように記入してください。

4. ⑦は、被保険者が乗り組む船舶の種類により、次に該当する数字を〇印で囲んでください。

C船(旧船員保険法(昭和60年法律第34号による改正前の船員保険法をいう。以下に同じ。)第34条第1項第2号イ、ロ、ハの漁船)に乗り組む者 

- ⑦には、たとえば、船長、甲板員の場合には、「船長」、「甲」のように記入してください。
- ⑤には、報酬に増減のあった日または歩合報酬の算出基礎となる要素に変更のあった日の属する月の翌月(報酬に増減があった日または歩合報酬の額の算出基礎となる要素に変更が あった日が月の初日であるときは、その月)を記入することとし、たとえば、令和4年1月の場合は、 のように記入してください。
- 7. 分には、報酬のうち、臨時に受けるものおよび3か月を超える期間ごとに受けるもの以外で、通貨で支払われる賃金、給料、俸給、手当および賞与並びにこれらに準ずる、船員が 労働の対償として受けるすべてのものについて、船員保険法第20条第1項の規定によって算定した額を記入してください。 ①には、報酬のうち、物品、施設および利益等通貨以外で支払われるものについて、船員保険法第22条の規定により厚生労働大臣の定めた価額によって算定した額を記入してください。
- 8. 夕には、被保険者整理番号または基礎年金番号の通知をまだ受けていない被保険者については、その旨を記入してください。
- 9. 本手続は電子申請による届出も可能です。なお、本手続について、社会保険労務士が電子申請により本届書の提出に関する手続を船舶所有者に代わって行う場合には、当該社会保険 労務士が当該船舶所有者の提出代行者であることを証明することができるものを本届書の提出と併せて送信することをもって、当該船舶所有者の電子署名に代えることができます。

(記載例)

①船舶所有者整理記号 東 17

船員保険 厚牛年金保険

## 被保険者報酬月額変更(基準日)届

②被保険者 整理番号	③個人番号(または基礎年金番号)	⑦被保険者の氏名	④被保険者の生年月日	全型 型 型 電子	⑤標準報酬月額 変 更 年 月	① (工徒前の標準 報酬)
A CD		(氏) (名)	昭和5 年 月 日	2	<sup>↑↑和</sup> 年 月 月	240
125	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	山本 太郎	平成7 令和9 3 8 0 3 0 9	4 6 8		240
ACD		(氏) (名)	昭和5 年 月 日	2	今和 年 月  射	日
			平成7 令和9	6 8	Ī	サイド (年) (年) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日) (日
()	・ 主)①および②には、 <i>たと</i> えば「東D125」の場合は、	東い	のように、②には 125	<u>ω</u> μ	ように記入してくださ	\$[, \sum_

ただし、船舶の種類が一種類の船舶所有者にあっては、①に ②には、被保険者整理番号順に記入してください。

東D い

のように記入し、②の船舶の種類(A、CおよびD)は、記入する必要はありません。